

岩手医科大学医学部コンピテンシーと臨床研修到達目標との関連について

		臨床研修到達目標（医師臨床研修指導ガイドライン）																
		A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与	A-2. 利他的な態度	A-3. 人間性の尊重	A-4. 自らを高める姿勢	B-1. 医学・医療における倫理性	B-2. 医学知識と問題対応能力	B-3. 診療技能と患者ケア	B-4. コミュニケーション能力	B-5. チーム医療の実践	B-6. 医療の質と安全管理	B-7. 社会における医療の実践	B-8. 科学的探究	B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	C-1. 一般外来診療	C-2. 病棟診療	C-3. 初期救急対応	C-4. 地域医療
岩手医科大学 コンピテンシー 医学部	I. 医療倫理					○												
	II. プロフェッショナリズム	○	○	○	○								○					
	III. 医療安全									○								
	IV. 医学的知識						○					○	○	○	○	○	○	○
	V. 診療技術・患者ケア							○				○	○	○	○	○	○	○
	VI. コミュニケーションとチーム医療								○	○					○	○	○	○
	VII. 社会における医療の実践											○						
	VIII. 地域医療																	○

【臨床研修到達目標（医師臨床研修指導ガイドライン）】

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。
- A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。
- A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。
- A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B. 資質・能力

- B-1. 医学・医療における倫理性 診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。
- B-2. 医学知識と問題対応能力 最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題に対して、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。
- B-3. 診療技能と患者ケア 臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。
- B-4. コミュニケーション能力 患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。
- B-5. チーム医療の実践 医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。
- B-6. 医療の質と安全管理 患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。
- B-7. 社会における医療の実践 医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。
- B-8. 科学的探究 医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。
- B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

C. 基本的診療業務

- C-1. 一般外来診療 頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。
- C-2. 病棟診療 急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域医療に配慮した退院調整ができる。
- C-3. 初期救急対応 緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。
- C-4. 地域医療 地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。